

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハートランド豊田の杜			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ~			令和7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 27日 ~			令和7年 11月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数の受け入れで、職員がじっくり利用者に関われる	・集団活動だけでなく、個々の課題やニーズに沿った個別活動も、利用者一人一人に職員が付いて支援するように取り組んでいる。	・個々の好きや得意を広げる、新しい物に挑戦ができるよう、個別活動の時間や選択肢を増やす。
2	身体障がい児、知的障がい児のどちらの受け入れも行っている	・曜日で受け入れ児童を分け、それぞれ障がい特性に合わせた支援に努めている。 ・同じ活動でも、内容やルールを変え、それぞれの児童が楽しめるようにしている。	・今後も研修等でそれぞれの障がいの理解や知識等の向上に努める。 ・障がい、身体特性を考慮してそれが楽しめるように、外出の目的地を変えるなどを検討してみる。
3	施設内調理の温かい栄養バランスのとれた食事提供	・個々の食形態に合わせて提供している。 ・温冷を損なわないように管理、提供がなされている。 ・主食のご飯は、希望や成長具合によって増減が可能である。	・今後も実際の食事や食事風景をインスタで紹介する他、お便りなどにものせる。 ・選択食を放ディでも取り入れて選べるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスが十分ではなく、限定的である	・他部署との兼ね合いもあり、送迎車を使える時間帯や職員数が限られている。	・休日は送迎を実施できない分、延長支援も上手く利用していただきながら、できる範囲で家族の都合に合わせられるようにする。
2	外出行事のバリエーションや機会が少ない	・身体、知的とどちらの障がい特性も考慮すると（トイレ、天候、駐車スペース、混雑状況、道幅等）外出場所が限定される。 ・これまでやってこなかった外食は、偏食やアレルギーの方がいること、また不慣れな環境で落ち着いて安全に食事ができるかの懸念が大きかった。	・障がい特性を考慮してそれが楽しめるように、外出の目的地を変えるなどを検討してみる。 ・外食に関しては、事前に家族に安全に食べられる物を相談しておき、まずはフードコートなどの場でスイーツ、おやつなどの手軽に食べられるものからチャレンジしていく。
3	活動に偏りがあった	・利用日数によって進行具合が違い、利用日数が多い方は同じ内容が続くことがあった。 ・時間のかかる創作は、予定を組む段階から多く時間をとっていた為、取り組めない活動があった。	・それぞれの活動のバリエーションを増やしておく。 ・比重の大きかった創作は、ある程度職員が手を加えておき、他の活動とバランスをみて、ひと月毎の予定を組めるようにする。 ・利用者にも活動、行事の意見やアイデア、準備などにも携わってもらう。